

学生との年金対話集会について（今年度の実績・来年度の方向性）

厚生労働省年金局総務課年金広報企画室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

令和4年度の実績について

■ 趣旨

学生と厚生労働省（年金局）職員が年金をテーマに語り合うことを通じて、学生が年金について考えるきっかけにするとともに、学生からの意見や指摘を今後の年金行政に活かす。

■ 概要

- ・ 全国各地の大学などで開催（対面／オンライン開催）
- ・ 年金制度の説明を行った後、座談会形式で年金をテーマに学生と職員が意見交換
- ・ 開催後、厚生労働省ホームページや大学・市町村の広報誌等で様子を公表

■ 実施期間

- ・ 令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

■ 開催実績（令和元年度：大学6校、令和2年度：大学9校、令和3年度：大学24校、中学・高校4校）

- ・ のべ25校で開催 ※令和5年3月16日時点。一部の大学において複数回実施。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------|
| ○4月14日 関西大学（対面） | ○10月4日 上智大学（対面） |
| ○5月31日 盛岡大学（オンライン） | ○10月18日 東京経済大学（オンライン） |
| ○6月3日 東京都立東久留米総合高等学校（対面） | ○10月20日 東北大学（対面） |
| ○6月14日 一橋大学（対面） | ○11月10日 亜細亜大学（対面） |
| ○6月17日 お茶の水女子大学（対面） | ○12月2日 成城大学（対面） |
| ○6月17日 東海大学（オンライン） | ○12月6日 東北公益文科大学（オンライン） |
| ○6月23日 北海道大学（対面） | ○12月8日 大妻女子大学短期大学部（対面） |
| ○6月24日 北海道大学公共政策大学院（対面） | ○12月15日 東北学院大学（対面） |
| ○7月1日 名古屋大学（対面） | ○12月16日 東京大学（対面） |
| ○7月4日 熊本大学（オンライン） | ○12月20日 横浜国立大学（対面） |
| ○7月8日 日本女子大学（対面） | ○12月23日 福岡大学（対面） |
| ○7月15日 帝京大学（対面） | ○12月28日 北海道大学公共政策大学院（対面） |
| ○8月9日 角川ドワンゴ学園N高等学校、S高等学校、N中等部（オンライン） | |

対面やオンラインで実施

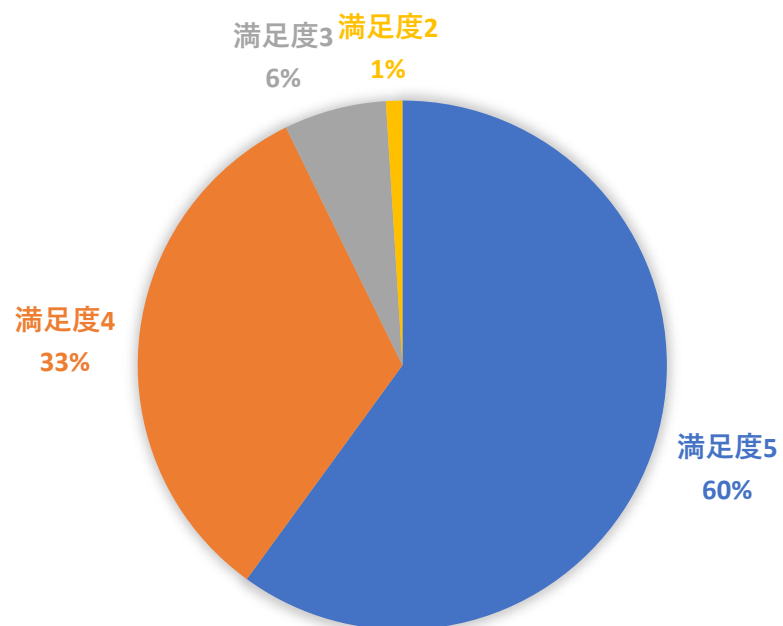


令和4年度の実績について

■ 出席者の満足度及び理解度

【満足度】

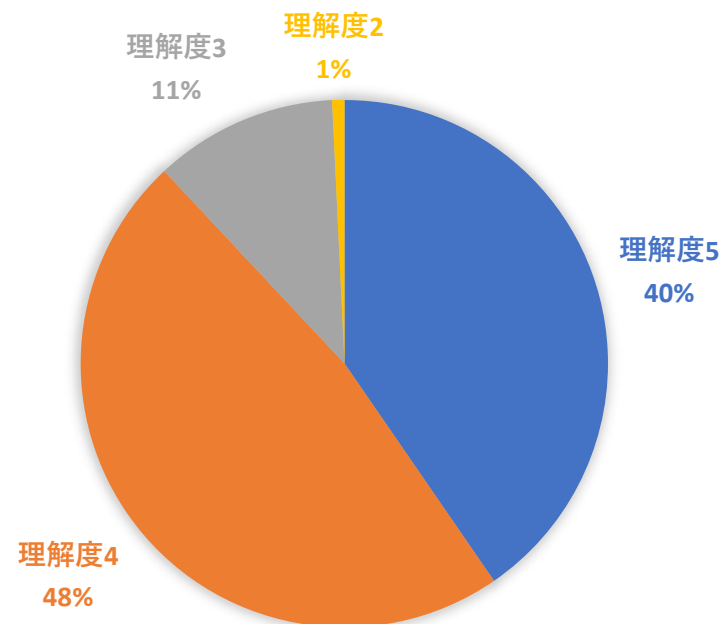
(不満) ←1-2-3-4-5→ (満足)



満足度5	240
満足度4	131
満足度3	25
満足度2	4
満足度1	0

【理解度】

(不十分) ←1-2-3-4-5→ (十分)



理解度5	162
理解度4	191
理解度3	45
理解度2	3
理解度1	0

令和4年度の実績について

■ 出席者からの主な意見

【わかったこと】

- 「年金」とは、高齢者の生活支援のための制度だというイメージが強く、20歳から年金を払うのは高齢者のためであり、自身の利益に繋がるのか疑念を抱いていたが、対話集会を経て、年金には障害年金や遺族年金など、我々大学生がすぐに利用できる制度が充実していることを知り、年金へのイメージが前向きなものとなった。
- 自分の世代は負担が重くなる一方でほとんどもらえないのではないかと漠然と思っていたが、マクロ経済スライドや積立金によって負担が無尽蔵に増えることがないことを新たに知りました。
- 年金制度の維持について、現状における人口の要素のみが関わるのではなく、経済や労働市場といった要素も絡むことから、社会の動き自体が年金制度と密接に関わることが分かりました。
- 年金支払いには前世代の積立金も利用されるということ。年金制度の改正について議論する際には年金部会という年金局以外の人も在籍する組織があるということ。
- 正直自分が年金をもらう頃には、もうもらえなくなっているのではないかと考えていたので、100年先までの財政見通しが作成されていることや、支払われる年金額が増えすぎないようにする仕組みについては初めて知りました。
- 年金制度が歴史的にかなり考えられて作られていることが分かった。時代と共に年金制度は変遷しており、現在はいくつかの過渡期の中の一つに過ぎないということだと理解した。

【もっと知りたかったこと】

- 人口減少による保険料の減少分は、積立金から得られる財源で賄う見込みとありました。この積立金は、少子高齢化の進展に伴い減少することはないのか知りたかったです。
- iDeCoや積み立てNISAのメリットとデメリット、どのようなライフスタイルの人にそれぞれが向いているのかが知りたいです。
- 年金額を賃金・物価額からマクロ経済スライド調整率を差し引いた改定率によって決めているという話があったが、その細かい計算方法が難しかったので、より詳しく知りたいと思った。
- 年金における国際情勢に詳しい方だったようなので、日本と世界の年金制度の違いについてさらに詳しいお話を聞いてみたかったです。大学生や若いうちから老後のために意識しておくとう良いことを詳しく知りたいと思いました。
- 少子化によって将来支払う現役世代が減少しても年金がもらえるために今回の講義で説明されたこと以外でどのようなことをしているのか知りたかったです。また、私的年金についてももっと深く知りたかったです。そして厚生労働省での仕事の内容や仕事をしていてやりがいを感じるころや大変なところなどについてを知りたかったです。加えて、厚生労働省で働こうと思ったきっかけや厚生労働省で働くにはどんな勉強をすればなれるのか知りたかったです。
- 公的年金シミュレーターを実際に一緒に操作してみたかったです。

令和5年度の方針について（対象校の拡大に向けて）

1. 社会保障と関連した研究や講義を行っている教授等への声掛けの拡大

- 社会保障分野に関する研究や講義を行っている大学教授等のリストアップ
- 令和4年度実施済校及び令和5年度新規候補校への声掛け実施の早期化

2. 地方厚生局や市区町村との連携の拡充

- 年金委員や学生納付特例事務法人に関する業務を通じた地方厚生局の地域ネットワークの活用
- 市区町村内の大学と緊密に連携がある市区町村の地域ネットワークの活用

3. 中高生向け対話集会の実施

- 社会科担当教員のネットワークを通じた声掛け実施
- 卒業後に就職（厚生年金保険に加入）する学生が多い高校（専門学科や定時制等）への声掛け実施
- 出前授業まとめサイト等への掲載の依頼

4. 教材コンテンツの充実

- 就職を控えた中高生に向けた厚生年金保険への加入の意義を理解できる教材の作成
- 大学生のニーズ（専門分野・学年など）に幅広く対応するための資料の多様化
- 障害年金・遺族年金に関する内容の充実